

高円宮賜杯 第46回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント
加賀中ブロック大会 開催要項

開催趣旨 学童が野球を通して、チームワークと心をひとつにし、力をあわせて夢と憧れに向かい、健全で豊かな心身を育むための大会とする。

主催 石川県軟式野球連盟
主管 野々市市学童野球連盟
共催 石川県学童野球連盟・能美学童野球連盟・白山市学童野球連盟
後援 北國新聞社・野々市市教育委員会・野々市市野球協会
特別協賛 三谷産業コンストラクションズ株式会社・株式会社金太・株式会社パズフォト

大会日程 令和8年5月 4日（月祝）：1回戦（会場：野々市市民野球場）
5日（火祝）：準決勝戦（会場：野々市市民野球場）
9日（土）：第三代表決定戦・決勝戦（会場：野々市市民野球場）
10日（日）：予備日（会場：野々市中央公園運動広場）
17日（日）：予備日（会場：野々市市民野球場）
23日（土）：予備日（会場：野々市市民野球場）

開会式 5月4日（月祝）8：00～ **野々市市民野球場**（野々市市下林3丁目97）
※ 出場チームは、午前7時45分までに集合して下さい。（**プラカード持参**）
※ 雨天順延の場合は、開会式も順延となります。

試合会場 野々市市民野球場・野々市中央公園運動広場（野々市市下林3丁目97）
※ 雨天順延は午前7時迄に決定し、出場チームにご連絡します。
※ 開門時間は、全日程7：30とします。

参加チーム 白山支部（4）・能美支部（2）・野々市支部（2） 合計8チーム

競技方法 2026年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」
並びに一部、野々市支部のローカル・ルールを適用し、試合球は公認J級とする。
全日本軟式野球連盟投球制限ガイドライン並びに申告敬遠を適用する。
6回戦制、時間制限1時間30分（時間優先）。一般用ホームベースを使用。

表彰 優勝・準優勝・第三位の3チーム

抽選会 4月26日（日）18時00分より
野々市市富奥防災コミュニティセンター（野々市市中林5丁目3番地22）
※ 抽選会終了後に、3支部役員での合同会議を行ないます。

参加費 1チーム 10,000円（抽選会当日申し受けますので、ご用意願います。）

賞典返還 前年度 優勝 川北町学童野球クラブ（能美支部）
準優勝 松任若体スーパースターズ（白山支部）

加賀中ブロック大会規定

1. 試合は、2026年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」及び一部、野々市支部ローカル・ルールを適用し、試合球は公認J級とする。
2. 監督・コーチは成人者とし、チームと同一のユニホームを着用すること。
また、監督の背番号は30番、コーチは29番と28番とする。なお、選手の背番号は0～27番、31～99番とし、主将は10番とする。
3. 選手登録（ベンチ入り）は、1チーム25名までとし、選手以外のベンチ入りの大人は、引率責任者、監督、コーチ2名、スコアラー1名、健康管理スタッフを含めて6名以内とし、監督及びコーチ以外はユニホームを着用しなくてもよい。（但し、自チームの帽子着用のこと）
4. 打順表の提出は、第1試合では試合開始30分前に、第2試合以後は当該試合予定時刻の30分前に監督と主将が大会本部に提出し、原簿と照合ののち、球審立会の上、攻守を決定する。打順表は5部提出すること。（打順表は、本部1、アナウンス1、記録1、相手チーム1、自チーム1）
先攻・後攻は、トスで決定する。定刻時間に指定場所に来ないチームは棄権とみなす。
尚、第2試合以降の試合開始時間は、前試合終了の凡そ30分後に開始とする。
5. 試合は6回までとし、時間は1時間30分を制限とする。これを過ぎて、新しいイニングに入らない（時間優先）。尚、1時間30分を経過した時点で規定回に達していない場合、均等回終了をもってゲームが成立したものとす。また、制限時間を超えた時点がイニングの裏であり、且つ、後攻チームの得点が先行チームの得点を上回っている場合は、その打者の打撃完了を以ってゲームセットとする。
6. 試合終了後（6回終了時または1時間30分経過後の均等回終了後）、同点の場合はタイブレーク方式で試合を決する。

【タイブレーク方式（特別ルール）】

【特別延長戦（プレーオフ）規定】

規定回終了時又は制限時間を超えた時点でのイニング終了時において同点の場合は、直ちに特別延長戦を行う。尚、決勝戦を除き、特別延長戦は最長2イニングまでとし、決着しない場合は抽選とする。抽選方法は、本部指示に従うこと。

【特別延長戦（プレーオフ）競技方法】

両チームとも無死1・2塁とし、打順は前イニングの継続打順とする。この場合、走者は、前イニングの最終打者を1塁走者、2塁走者は順次前の打者とする。

尚、代走・代打を送ってもよい。また、投手・野手を交代させても何ら差し支えない。

ただし、一度出場し交代してベンチに下がった選手は出られない。

特別延長戦（プレーオフ）は、制限時間なしとする。

7. 点差によるコールドゲームの成立は、5回（均等回数）終了以後7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立するものとする。（コールドゲームに関して決勝戦・第三代表決定戦は除く）

8. すべての試合に、投手の 12 秒及び 20 秒ルール（ピッチクロック）を適用し、二塁審が判定を行う。
9. 指名打者ルールを適用する。但し、学童部は二刀流選手を採用しない。
10. ベンチは、抽選番号の数字が小さい方を 1 塁側とする。
11. 試合中における抗議権や選手交代は、監督又は当事者に限り認めるが、試合の迅速化に協力すること。
12. 打者、次打者、走者及びランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。また、捕手は控えの選手も含めて、ヘルメット、マスク、プロテクター、股間用保護具（ファウルカップ）及びレガースを必ず着用しなければならない。
13. リストバンドについて守備時投手以外は使用を認める。ただし、何らかの事情で包帯や絆創膏等の使用を希望する場合は、事前に大会本部へ申し出ること。必要に応じて認める場合もある。
14. グラウンド整備や試合の進行は、野々市支部運営委員が責任をもって行う。
15. 野球用具は、全日本軟式野球連盟が公認したものであること。
16. 各試合の選手登録表提出後は、選手の変更及び背番号の変更は認めない。
17. シートノックは後攻より 5 分間行う。ただし、天候等の事情により行わない旨を大会本部より指示することがある。
18. 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1 人の投手は 1 日 70 球以内を投球できる。また、1 週間の投球数は 210 球以内とする。尚、試合中に 1 日又は 1 週間の制限投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
（全日本軟式野球連盟 投球数制限ガイドライン適用）
チーム監督（守備側）からの故意四球（申告敬遠）を認める。
19. その他の事項については、審判員の指導に基づき試合を遂行する。
20. 応援席の整理整頓は、当該使用チームが責任をもって当てること。
21. 野球場施設等の整理整頓は、試合当日の最終試合における両チームが責任をもって行うこと。また、野球場管理棟の清掃については、最終ゲームの勝利チームが行うこと。
22. 開会式は、ユニホーム（セカンドグリー・練習着含む）を着用した登録選手以外の選手が参加することを認める。
23. 試合には、当該チームから 2 名以下の放送係を出し、試合進行に協力すること。
24. 審判への給水について

- ① 給水は、本部席・運営部にて行う。
- ② 給水を行う回は、試合開始前に審判と本部席で協議し決定する。
- ③ 給水を行う時には、給水のアナウンスを放送する。

25. グラウンドに入場する際（開会式を含む）、各チームの選手・指導者は、基本的な感染対策に留意すること。また、本部関係者（大会役員・審判員・運営委員当）においては、グラウンドの他、本部席等においても基本的な感染対策に留意すること。

26. 個人情報及び肖像権の取扱いについて

- （1） 主管支部が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取り扱うものとする。また、取得した個人情報については、参加資格審査・運営上必要なプログラム編成及び作成・大会時のアナウンス・大会結果掲載に関わること（表彰・掲示板・ホームページ・大会記録集・報道関係への提供等）、その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等にものみ使用する。
- （2） 結果（記録）については、上記（1）で定めた個人情報と共に、主催者及び主管団体を通じた公開、関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
- （3） 関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等によって配信されることがある。
- （4） 大会参加申し込みとして出場選手登録書を提出した時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。また、各種大会運営関係者（各支部役員・理事・委員・審判員等）については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

試合上の注意事項 別紙参照

試合上の注意事項

- ① 大会趣旨を十分に理解し、目に余る行為をしないこと。
- ② 投手の滑り止め（ロージン）は、各チームで用意すること。
- ③ 各回の先頭打者、次打者及びランナーコーチは、ミーティングに参加しないで直ちに定位置に着くこと。
- ④ ラフプレイは、絶対に許されない。特に、足を高く上げてのスライディングは危険であるため禁止する。
- ⑤ 攻守交代は、元気よく全力疾走で行うこと。
- ⑥ 野手は走者に対して、どの塁に関わらず、一角をあけること。
- ⑦ 内野手の転送球は、試合進行の関係から、原則として、これを行わない。
- ⑧ 指導者の選手に対する暴力的行為や指導者としてのあるまじき行為は、許されない。
- ⑨ 応援について、電子機器、鳴り物、うちわ及びメガホン等の使用は禁止する。
- ⑩ 個人を攻撃するヤジは、絶対に行わない。ベンチからだけでなく、応援席もこれに倣うこと。
- ⑪ ショートの守備 二塁ランナーへのプラインド禁止。（牽制時等）
- ⑫ ホームランを打った後の走者に対して走塁中の身体への接触の禁止。
- ⑬ 「一・三塁への牽制時の偽投」等の禁止。（警告はせずに始めからボークの判定を行う。）
- ⑭ 監督（30）コーチ（29）（28）、及び登録選手以外は、グラウンドに入らないこと。
- ⑮ 大会の円滑な進行のため、シートノックの準備または試合開始のアナウンスが入ったら直ちにアップを終了し、速やかにベンチに戻り、次の行動の準備をすること。
- ⑯ 開会式の行進は、アップシューズまたはズックを履くこと。
- ⑰ 選手のサングラス使用に関しては、大会本部の承認を得ずとも使用を認める。但し、投手においてはミラー型サングラスを使用できない。また、野手がサングラスを帽子の庇の上のにせる事を認める。
- ⑱ ベンチ入りする大人は、ミラー型サングラスの着用を不可とする。

以上

◎試合結果・記録は、「野々市市学童野球連盟だより」 カテゴリーアーカイブ (<https://nono1.jp>) に試合後数日中に掲載します。また、野々市市学童野球連盟公式ホームページ (<https://nonoichi-rba.nono1.jp>) の、「野々市市学童野球連盟だより」バナーからアクセスすることも可能です。